

オンライン面会について



患者様、ご家族の不安を少しでも軽減できるよう面会制限中の期間は、電子機器を用いたオンライン面会のサービスを令和2年7月20日より開始しております。

共通事項

- ・予約制となっています。
→入院患者様ご家族が優先です。
- ・ご予約は面会希望日の2日前の17:00までにご連絡ください。
→土曜日午後及び日曜祝日はご予約できません。
- ・ご予約は地域連携部あてにご連絡ください。(代表番号 04-2949-3385)
- ・ご予約日時はご希望に添えない場合がございます。あらかじめ数日の候補をご用意ください。
- ・多くの方にご利用いただくため1家族で週1回程度のご予約となります。
- ・オンライン面会利用は平日13:30~15:30、面会時間は1家族10分間となります。

ご来院される面会(インターネット環境のない方)

- ・ご予約時間の5分前までに受付にお越しください。
- ・オンライン面会時はマスクの着用及び検温、問診をお願いします。
- ・健康状態が良好でない場合は、オンライン面会できません。
- ・来院は1家族で2名様までとさせていただきます。

ご来院されない面会

(カメラ付きパソコン、スマートフォン、タブレットのインターネット環境がある方)

- ・「Zoom」または「LINE」でのオンライン面会となります。
- ・ご予約・ご相談は地域連携部あてにご連絡ください。
(代表番号 04-2949-3385)



(文/地域連携部)



vol.60

令和2年
10月1日発行

所沢ロイヤル病院

はなみずき

病院理念

私たちは安全で良質な医療、
心のこもった看護・介護、地域社会との連携を目指します。

打倒コロナ!
安心・安全な医療を
目指します!!

お知らせ

感染対策強化月間を継続!

10月以降も当面の間、感染対策強化月間を継続していきます。

例年、さまざまなイベントを企画しておりますが、感染対策徹底により自粛しております。
何卒ご了承ください。イベント再開の目処が立ちましたら改めてお知らせいたします。

編集
後記

新型コロナウイルス感染症の報道が頻繁になり、今までの生活から一変し半年以上が過ぎました。これからの時期は、インフルエンザの流行時期にもあたりますので、より一層の感染予防対策が必要となります。こまめな手洗い・手指消毒・マスクの着用・3密の回避など、新しい生活様式を取り入れた感染予防対策を徹底し、抑え込む対策から感染を拡大させない事が大切と感じています。

引き続き、職員一同、安心・安全な医療を提供できるように努めてまいります。

(文/総務課・澤田)

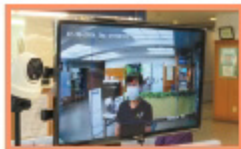


所沢ロイヤル病院

この街で安心・生きがい・感動づくりを

発行

医療法人 啓仁会 所沢ロイヤル病院 広報委員会 はなみずき編集部
〒359-1152 埼玉県所沢市北野三丁目1番地11 TEL:04-2949-3385 FAX:04-2949-7872



正面入り口および、
職員通用口に
発熱来訪者スクリーニング
システムの導入



日本医師会より、
感染防止対策を
徹底しているとして
「みんなで安心マーク」を
発行

各所の出入り口に
手指消毒液を増設



体温測定実施中!

ご協力をお願いします

ロビー、外来ソファでの
ソーシャルディスタンス
実施



安心・安全も届ける私たちのとりくみ

様々な感染対策に取り組みながら生活に寄り添い、
経験を強みに変えて地域貢献を目指します!

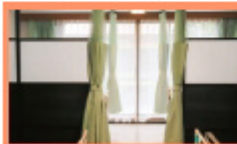


受付カウンター
飛沫防止
パーテーションの設置



職員食堂での
飛沫防止対策

面会制限対策として、
zoomやLINEによる
面会



4人部屋にパーテーションを
取り付け個室化し
プライバシー保護と
感染予防対策



リハビリテーション科の感染対策

当院でリハビリテーションを実施することに際し、新型コロナウイルス感染症に対して、以下の感染対策を行っております。

療法士を病棟担当とし、療法士の病棟間の往來をなくしました。当院で最も療法士の関りが多い回復期リハ病棟に関しましては部屋担当制に移行し、患者様に関わる療法士の人数や移動を制限いたしました。

また、外来・通所専門の療法士の配置や職員の詰所を分化するなど、職員同士の交差も極力控えた体制といたしました。



リハビリ室の使用に関してはソーシャルディスタンスを保つべく人数制限を設け「密」となることを避けております。換気は常時、環境清掃は都度実施し、常に清潔な状態で使用できるよう心がけております。

リハビリ室以外の訓練に関しましても、積極的かつ安心安全に提供すべく環境改革（病棟に平行棒を設置するなど）に努めております。

消毒に関しましては従来通り、出入口での手指消毒の徹底および使用物品の都度消毒、「処置（介入）消毒」を引き続き実施しております。



口腔体操や発声練習など、マスクを外す必要のある言語療法の場面ではフェイスシールドの使用に加え、透明なアクリル板を療法士と患者様の間仕切りで使用し飛沫感染を予防しています。



(文/リハビリテーション科・西野)

今後も引き続き、職員間の感染症対策に対する意識が希薄にならないよう情報の共有および注意喚起を行ってまいります。